

## 令和7年度 第3回福祉のまちづくり検討小委員会 議事要旨

日時：令和7年12月15日(月) 9:30～10:30

場所：オンライン

### 出席者（敬称略）

北川 博巳	近畿大学総合社会学部	准教授
柳 尚吾	関西学院大学建築学部	准教授
糟谷 佐紀	神戸学院大学総合リハビリテーション学部	教授
高尾 絹代	兵庫県身体障害者福祉協会	副理事長
今津 由雄	一般社団法人神戸経済同友会	

事務局	澤田	都市政策課課長
	石井	同 副課長
	川崎	同 都市政策班長

### 1 議事 福祉のまちづくり基本方針の改定（パブリックコメント案）について

### 2 主な意見交換

#### 【委員】

前回の小委員会で意見させていただいた、資料4の8ページの住宅のバリアフリー化について、この修正内容で良いと思う。

#### 【委員】

前回の小委員会で意見させていただいた駐車区画の件で、資料4の6ページに掲載している、スマホで対応できる不適正利用防止に向けた取組はありがたいと思う。昨日も尼崎市で、VEEMOについて話題にあがり、皆さんすごく興味を持っていた。修正内容についても良いと思う。

#### 【事務局】

今、話に出た、障害のある方等向け駐車区画の不適正利用に向けた取組については、「尼崎スポーツの森」という施設で先週から2月中旬まで実証実験を実施しており、VEEMOというアプリを操作すれば、駐車できる仕組みになっている。ぜひ体験や周知いただければと思っている。

#### 【委員】

対象を高齢者や障害者に絞っている感じがする。資料4の1ページ「はじめに」においても、少子高齢化について触れているし、子育て世帯はベビーカーなど荷物が多く、バリアフリーに関わるので、子育て世帯に関する文言を入れてはどうか。

#### 【委員】

子育て世帯へのバリアフリーは国土交通省などでもかなり言っているが、事務局

としては、当事者意見交換会なども実施しているし、条例との兼ね合いとか、その辺もあると思うが、子育て世帯の位置付けはどのようになっているのか確認させてほしい。

#### 【事務局】

福祉のまちづくり条例は、子育て世帯も対象となっている。

福祉のまちづくり基本方針も、理念のところで「すべての人が」としているので、子育て世帯も含めている。子育て世帯に特化した記載は、資料4の13ページのユニバーサルデザインタクシーのところの「高齢者等や、子育て世帯、観光客等誰もが利用しやすい」や、21ページの右から2つ目の図に「鉄道におけるベビーカー使用の理解促進」などがある。高齢者や障害者に関する記載に比べると少ないので、もう少しウェイトを大きくしても良いのではないかというご意見かと思う。追記できるところは、追記していきたいと思う。

#### 【委員】

子育てに関する政策というのは、県の中で色々あるわけだが、もう少し細かいことを言い出すと、実は交通安全の話とか、そういうところにも広がっていく。

でも、今のところは、寸法といった細かい話ではなくて、どちらかというと、アクション的なものとして福祉のまちづくりの中に位置付ける、という意味では、一歩進んだ話になってきているのかなと思う。そのあたりをもう少し工夫いただいた上で、パブリックコメントを実施していただければと思う。

#### 【委員】

先ほど、兵庫県のノンステップバス導入率について、山間部が多いので、どうしても目標値まで届かない、という説明があった。やはり、数値のみで評価するのは少し難しいと思うので、地域的な条件で、目標達成が困難であることを、注釈として記載してはどうか。

#### 【事務局】

注釈として追記させていただければと思う。

#### 【委員】

気になるのは、国はノンステップバス導入率を90%としていること。しかし、兵庫県はやはり、中山間地も多い。場所によって違うし、路線の中でも、都市部を走る区間、山間部を走る区間があるので、バスの目標値を作る時の難しさだと思う。ある程度、ノンステップバスの導入が進み、ノンステップバスを更新する割合が大きくなってきたため、導入率の上げ幅が緩やかになっているという背景があると聞いているので、その辺は丁寧に書いておいた方が良いのかなと思った。

#### 【委員】

資料4の3ページに「まちのユニバーサル化の推進」という言葉があるが、この文言は、兵庫県の施策に位置付けられた用語だと思って良いのか。兵庫県の中でしっかり定義されているのなら、それで良いと思うが、「ユニバーサル」というのは、

普遍的なとか、広がったとか、そういう意味があるので、確認しておきたい。

**【事務局】**

兵庫県の中で「まちのユニバーサル化」という用語の定義を明確にしているわけではない。「建築物のユニバーサル化」との並びで記載している。

**【委員】**

資料3の16ページには、「ユニバーサルなまちづくり推進事業」という事業化もしているので、県の事業の中で位置付けられているということによろしいかと思うがいかがか。

**【事務局】**

この事業については、従来は、ユニバーサル社会づくり推進地区整備事業という名称だったが、見直しを実施し、ユニバーサルなまちづくり推進事業、とした。

**【委員】**

そういう意味では、兵庫県の中で、そういう事業が進展していくのであれば、「まちのユニバーサル化」という用語については、反対ではない。

ユニバーサルなまちづくり推進事業については、事業の活用件数25件という目標があるが、これは、少しやってみないと分からないところかと思う。

**【事務局】**

事業の実施に関しては、市町に対して県が支援する間接補助の形になっているので、今後、市町と連携し、地域の団体や住民の方に周知いただくよう、力を入れてやっていきたいと思っている。

**【委員】**

チェック&アドバイス制度とユニバーサルなまちづくり推進事業は両輪として機能するのではないかと感じている。チェック&アドバイスは、「建築物のユニバーサル化の推進」に盛り込まれているが、むしろ、「まちのユニバーサル化の推進」に記載して、大事な事業が2つ並んでいるという意識もあり得るのかなと思う。

意見も反映されているし、内容的には分かりやすいものになっているので、この案でパブリックコメントを実施して良いだろうという認識でいるが、何か気づいたところがあれば伺いたい。

**【事務局】**

チェック&アドバイスは、「建築物のユニバーサル化の推進」のところで挙げているが、「まちのチェック&アドバイス」という、商店街や観光地などにおける面的なチェック&アドバイスも実施しているので、「まちのユニバーサル化の推進」への記載も検討する。また、過去の実施例も踏まえて、次の計画期間で、もう少し「まちのチェック&アドバイス」も積極的に取り組んでいけたらと思っている。

**【委員】**

資料の中でどう書き込むかというところは、今日の意見も踏まえて、考えていただければと思う。

**【委員】**

今後、改正された福祉のまちづくり基本方針が公表されるにあたって、施設整備のマニュアルを出したり、方針に基づいて、各種事業を進めたりといった、展開について教えていただきたい。

**【事務局】**

いただいた意見に対して、「施設整備・管理運営の手引」への記載で対応する、とした内容については、適宜対応していく。内容によっては、すぐに整理できるものと、一度議論をした上で検討するべきものがあると思うので、何をいつまでにといったスケジュールは具体的にはまだ決まっていない。

ユニバーサルなまちづくり推進事業については、見直しを反映したものを4月から実施する予定である。

**【委員】**

これから、県と市町や事業者、市町と事業者や市民というネットワークづくりをどうやっていくかというのも、すごく大事な課題だと思っている。

やはり、このような新しい方針が出たということを、いかに共有していくか、議論したことの中身が伝わるようなやり方を検討いただけるとありがたい。

**【事務局】**

パブリックコメントの前に、本日いただいた意見を踏まえ、文言修正や追記等を行うと思うが、修正後の内容確認については、委員長に一任して良いか。

**【一同】**

異議なし。